

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	今現在、入居者様の意向を聞き、職員間での周知は行っているが、実行に移すことができていない。	一人一人の意向を把握すると共に実際に希望を叶えることが出来るように努める。	希望がでた内容に対し、スタッフ会議に報告を行い、すぐに叶えることができる内容に関しては翌月以内に行い、長期、家族様を巻き込んだ希望に関してはカンファレンスを開催し叶えることができるように努めます。	6ヶ月
2	27	記録に記載は行いが改善するのではなく様子を見ると言うことで終了している。また気付いた際に記入するように気付きノートを作成したが、確認して終了になっている。	職員同士が改善に取り組めるように改善の意識をもってもらうと共に気付きノートにアセスメント欄を作成し、行った際の振り返りができるように努める。	申し送り時に特記事項に関しては1週間申し送りを行い職員に周知を徹底する。気づきノートに関しては次回のスタッフ会議にて職員に使用方法について理解を求める。	2ヶ月
3	39	入浴日や汚染時などには更衣を行っているがその他はご家族様が持ってきて下さった衣装を何年も使用しているケースがある。	ご家族様との連携を行い、昔の本人様が好んでいた服装や髪型について聞き取り調査を行い、本人様らしい服装、髪型が出来るように努める。	ご自宅に置いておられる洋服をもってきて頂き、本人様にあった服装をして頂く。髪型に関しては家族様に散髪日に同行して頂き、なるべく本人様の希望に近づけて頂く。	6ヶ月
4	10	入居者様の家族様宛にグループホーム便りとして、毎月お知らせを発行していますが、職員の入退職のお知らせをして居らず、ご家族様より、お世話になった職員にお礼の気持ちを伝えなかったとの要望を頂いた。	今後は、入退職者が出た場合は、グループホーム便りなどでお知らせしていくように努める。	入退職者の同行を毎月発行しているグループホーム便りや、2ヶ月に1回実施している運営推進会議にて報告させて頂き、入居者さまのご家族に向けて報告を行っていく。	1ヶ月
5	26	日々の様子や気付きをケースカンファレンスにて話し合っている。カンファレンスの結果をケアプランに反映できていない事がある。	計画作成担当者はケースカンファレンスを行った結果を入居者様のプランに反映し、入居者様へのケア向上及び職員のモチベーションの向上に努める。	計画作成担当者はケースカンファレンスを行った結果を入居者様のプランに反映し、入居者様へのケア向上及び職員のモチベーションの向上に努める。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。